

セメントと高分子材料を用いた劣化バラストの沈下対策方法

[低強度安定処理工法の補修材:LSスタビライザ]

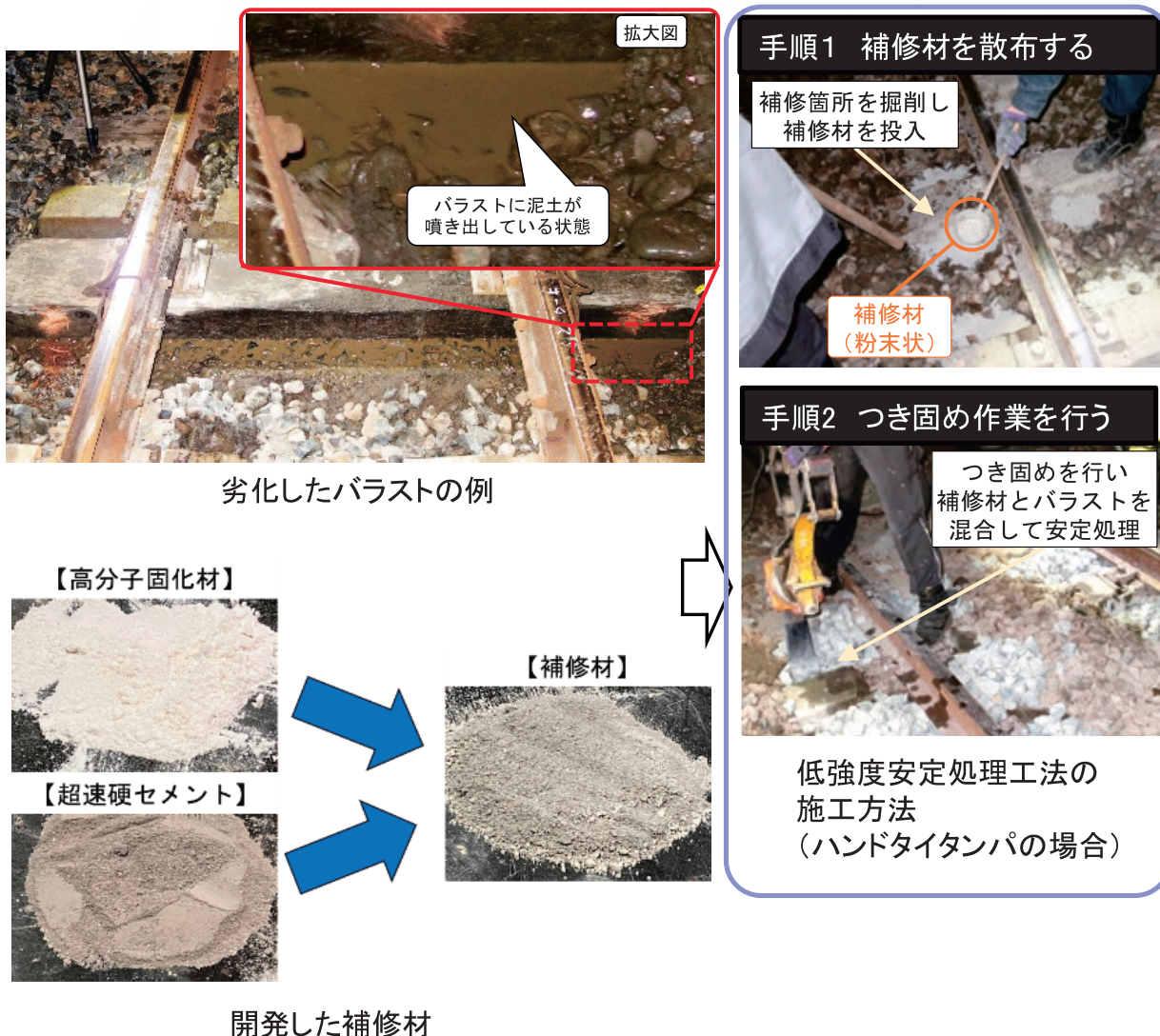
軌道技術研究部

劣化バラストのつき固め保守頻度を低減できます

破碎・細粒化して劣化したバラストは、沈下が増大しやすく、保守頻度が増加する傾向にありました。そこで、超速硬セメントと高分子材料からなる補修材をつき固め作業時に劣化バラストと混合することで強度を増加させ、沈下を低減する低強度安定処理工法を開発しました。本工法の活用により、軌道の保守・管理の省力化が期待できます。

【特徴】

- 本工法は、特殊な作業や施工器具が不要であり、施工直後から沈下抑制効果が発揮されます。
- 本工法の施工後に再沈下した場合、従来のつき固め作業が可能で、本工法での再施工も可能です。
- 機械施工にも適用できます。



構造物・防災
軌道
電気
車両
運輸
教育・訓練